



わたしたちの日本—美しい村

広報

しらかわ

2024

4月号

No.633

4月8日、白川保育園で入園式が行われました。今年度は10人が入園して、名前を呼ばれて良いお返事をしました。うさぎぐみに入り、これからお友達と元気いっぱい楽しい日々を過ごします。



CONTENTS

令和6年度白川村長方針

2・3ページ

白川村職員人事異動

7ページ

宿泊施設等が行う送迎について

11ページ

令和6年度 白川村 村長施策方針

令和6年度の村政運営に関する村長の所信と予算編成における基本方針等についてその内容を紹介します。

[問合せ先]
会計室兼財政課
☎6-1311

1. はじめに

本日ここに、第1回白川村議会定例会が開催されるにあたり、令和6年度の村政運営に対する基本方針について、所信の一端を申し述べ、村民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年4月に皆様のご信託を賜り4期目の村政をお預かりしたところでございます。これまで第2次総合戦略の「人口は維持以上を目指し、持続可能な村をつくる」を目標として進めてきました「後押し行政」「母の目行政」「孫の手行政」3本の柱の更なるステップアップを目指し、村ごと6次産業化や企業誘致、白川郷ブランドなどの構築に向けて更に前へ前へと進めて参る所存でございます。

まず、令和6年能登半島地震によってお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。能登地方は本村の歴史や生活にも結びつきが強いこともあり、被災された方々への村民の皆さまから募金など温かいお気持ちを寄せていただいておりますことに深く感謝申し上げます。村といたしましても、緊急の飲料水支援をはじめ岐阜県との協働による職員派遣等の被災者支援を進めており、今後とも引き続き被災者に寄り添う支援を展開して参ります。

さて、昨年5月にコロナウイルス感染症が5類へ移行後、これまでの日常生活を取り戻しつつあります。2021年は観光入込数が42万人まで落ち込んだものの昨年の

2023年には、172万人まで回復することができました。この間、村の主産業の一つである観光業をはじめ、村民の皆様はこの苦難な期間を乗り越えていただき改めて感謝を申し上げます。一方、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格の高騰と円安による物価高騰により、村民の生活に大きな影響を及ぼしております。こうした中、村では国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援を進めております。

2. 令和6年度村政運営基本方針と予算概要

白川村の令和4年度一般会計実質収支は5億1,800万円の黒字となり、財政の健全化判断比率である実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率は、いずれも早期健全化判断基準を大きく下回り健全財政を維持しております。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率においては、前年度より1.8ポイント下降し70.5%となり、類似団体内平均値を下回っております。

歳入面では、村民税が増加傾向であるものの、物価・原油価格の高騰の影響により、税収への影響を懸念するところです。地方交付税は、国の概要要求において本年度並みの交付額を予想しており、寄付金については「ふるさと納税」が顕著に伸びており、新たに「企業版ふるさと納税」や「自治体クラウドファンディング」にも取り組んで参ります。

歳入面では、義務的経費のうち公債費は毎年4億円前後の支出となっており、交付税参入率の高い地方債の借入れが中心であり、合わせて減債基金の確保に努めるなど次世代へ負担を先送りしない範囲での借入れを進めて参ります。

政策的経費では、村民・来訪者の安心安全を図るため村道や学校施設等の公共施設や村が管理する河川の安全管理を進めて参ります。また、現庁舎の老朽化と相まって土砂災害警戒区域に位置しているため、多発する災害対応に備えるための防災センサー機能を有する新庁舎建設に向けた設計業務等を進めて参ります。この他、本村の6次産業化や企業誘致、産業振興を推進するにあたり、確実な財源の確保に向けた情報収集を図るなど適正な財政運営を進め参ります。

提出いたします予算案は、「政策方針」「白川村総合戦略」「過疎自立促進計画」の他、各種計画を基本として、将来の白川村の姿を見据え、国の政策に柔軟に対応したより効果の高い予算をまとめることができました。

令和6年度当初歳入歳出予算案の規模は、一般会計予算額は4億2,700万円増し過去最高額となる39億6,000万円です。特別会計歳入歳出予算総額にありましては、令和6年度より簡易水道特別会計並びに公共下水道特別会計が公営企業会計へ移行することに伴い、同特別会計を除く会計総額は4,660万円増の6億4,530万円です。一般会計並びに特別会計を合わせた総額は、4億7,360万円増の46億5,300万円です。

次に、公営企業会計の簡易水道会計は、収益的収入が8,193万円、資本的収入ゼロ、収益的支出は9,048万円、資本的支出は8,533万円です。

また、下水道会計は、収益的収入が2億2,077万円、資本的収入は6,117万円、収益的支出は2億1,652万円、資本的支出は3,604万円です。

一般会計における歳入予算は、金額の大

きい順に、地方交付税、村税、寄付金、繰入金で、地方交付税は予算総額の25%を占めており、普通交付税9億5千万円、特別交付税5千万円を見込んでいます。

村税は、前年度比0.5%増の7億4,173万円、寄付金は、前年度比73.4%増の6億1,253万円です。主にふるさと納税の増収を見込んでおります。この他、村営駐車場の利用者台数の回復を見込み増収としております。

次に、性質別に仕分けた歳出予算額では、金額の大きい順に物件費、普通建設事業費、人件費になります。普通建設事業費は、村道荻町下ゴソ線道路改良事業や村が管理する河川の浚渫工事等により前年度比29.9%増の5億6,328万円。また物件費では、「ふるさと納税推進事業」や「電算管理一般経費」などによる委託料の増額により前年度比9.0%増の11億8,653万円としております。

義務的経費は、主に扶助費が児童手当の増額及び物価高騰対応重点支援事業の創設等により前年度比17.5%増額し9,317万円を計上しております。

特別会計では、温泉開発特別会計において源泉の機能評価及び湯量・湯温の安定化に向けた調査委託費等を実施するため前年度比85.0%増の5,180万円を計上しております。平瀬温泉は、平成29年11月環境省による「白川郷平瀬温泉国民保養温泉地計画書」に基づき「今後の取組方策」として源泉の温度・湧出量の観測について調査するものであり、さらに15kmの引湯管の調査など管理体制の向上を進め温泉の安定供給に努めるとともに、地域の皆さまのご意見をいただきながら利活用を検討して参りたいと考えております。

3. 令和6年度一般会計予算 目的別の主な事業

1 款、議会費につきましては、前年比63万円増額の3,556万円です。
SDGs目標16「全てのの人々に司法のアクセスをあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度を構築する」。

2 款、総務費につきましては、前年比1億2,253万円増額の6億9,628万円です。
SDGs目標9「包括的かつ持続可能な産業化の促進」及び目標16（議会費と同様）。

ハード事業では、庁舎移転新築に向けた建設計画策定を行います。財源は庁舎建設基金を活用しますが、物価高騰に伴う建設費の上昇により更なる経費の増加が見込まれることから、財政負担を最小限に抑える範囲での積み増しを継続するほか、有効な国庫補助金や地方債等を確保するなど経費負担の軽減に努めて参ります。
ソフト事業では、全国から「ふるさと納税」として多くの寄付金をいただくことができており、さらに寄付金の受け入れができるよう返礼品をはじめ事務委託料等の必要経費を確保して参ります。

3 款、民生費につきましては、前年比3,964万円増額の3億2,954万円です。
SDGs目標1「あらゆる形態の貧困を終わらせる」及び目標3「全てのの人の健康的な生活を確保する」。

物価高騰対応重点支援事業として、所得の低い世帯への給付金の支給や同世帯の子ども加算などを計上しております。また、診療所が実施するポータルエコや医薬品分包機の整備等に係る費用を繰出金として計上しております。

4 款、衛生費につきましては、前年比3,143万円増額の2億3,218万円

です。
SDGs目標3「全てのの人の健康的な生活を確保」及び目標6「全てのの人の衛生の利用可能と持続可能な管理を確保する」。

国の子育て支援などの新規政策に対応しつつ、妊産婦健診・不妊治療・乳幼児健診の充実並びに新型コロナウイルスワクチン接種助成をはじめ、胃カメラ検診や住民健診を白川郷学園8年生に拡充するなど村独自のきめ細かな住民サービスの充実を進めて参ります。

5 款、農林水産業費につきましては、前年比1,112万円増額の2億7,913万円です。
SDGs目標2「持続可能な農業の促進」及び目標15「持続可能な森林の経営」。

新規事業の農地・農村風景保全事業では、農地の適正な管理及び保全に關し必要とする機械整備の費用を計上、また、昨年度に引続き計画的な間伐に關する経費を計上して参ります。

企業誘致政策関連事業においては、6次産業化に向けた鳩谷体育館の撤去費用を計上、また、新産業応援基金を創設し関連事業に要する費用へ活用して参ります。

また、鳩谷体育館に隣接した乳幼児健診会場の取壊しに伴い、一時的にじ・ば工房に機能を移すため一部改修を行います。

6 款、商工費につきましては、前年度比1億8,545万円減の6億7,612万円です。
SDGs目標8「包括的かつ持続可能な経済成長及び全ての人の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用」及び目標12「持続可能な消費生活形態を確保する」。

新型コロナウイルスが5類へ移行し、荻町集落内にも多くのお客様が訪れいただけるようになっております。一方、定期バス利用者が増加しバスターミナル施設のキャパシティが限界を迎えていることや、せせ

らぎ公園駐車場の老朽化が進んでおり、安心安全な環境整備を進めるよう施設整備を行います。特に、荻町城跡展望台は、安全な展望スペースの確保と観光車両による混雑が喫緊の課題となっており、改良を含め整備を行います。

また、南部地区の活性化を図るため、2月21日に「白水滝」が国指定文化財（名勝）に指定されたことを受け、白水滝を中心とした大白川園地の魅力を広げ観光客の受入れ強化を図って参ります。
しらみずの湯施設管理経費では、破損した真空式温水ヒーター取替を実施し営業の安定化を図ります。また、温泉開発特別会計による「源泉の機能評価及び湯量・湯温の安定化に向けた調査委託費事業」を進めるため温泉開発特別会計への繰出金を増額しております。

7 款、土木費につきましては、前年比2億3,567万円増額の6億7,612万円です。
SDGs目標8（商工費と同様）及び目標11「包括的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」。

社会資本整備総合交付金を財源とした、落石対策などの事業を計画的に実施します。河川に堆積した土砂等によって災害をもたらす危険性を回避するため村が管理する河川の浚渫を実施します。その他、東海北陸自動車道の4車線化が進められており、建設時に生じる土砂を処分するため盛土場の調査並びに設計費等関係経費を計上して参ります。

8 款、消防費につきましては、前年比1,313万円増額の2億1,917万円です。
SDGs目標11（土木費と同様）及び目標13「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」。

消防施設管理経費では、防災行政無線設備に係る維持管理経費や鳩谷体育館横防火水槽の安全対策と屋外スピーカーの移設を

計画しています。常備消防では、高山市への業務委託経費を計上しており、皆様の安全・安心を確保して参ります。

9 款、教育費につきましては、前年比1億3,693万円増額の4億3,304万円です。
SDGs目標3（民生費と同様）及び目標4「全てのの人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」。

学校施設点検結果に基づき、ふれあい体育館の屋根修理に合わせLED照明化を実施するとともに、継続的に校舎の長寿命化を進めて参ります。学校給食センター管理経費では、給食運搬車両や自然冷媒冷蔵庫並びに給食センター内のエアコンを更新します。白川郷学園ICT整備事業では、通信環境の安定と高速化を図るためWi-Fiルーターの更新を進めて参ります。

アントレプレナーシップ教育の実践のため教育研究所事業を新たに事業化し、村の未来に繋がる教育の在り方について大学や専門家と連携した学びの場を設けた子どもの成長支援を進めて参ります。

また、白川児童公園にトイレ新設工事を実施し、衛生的で子ども達が楽しめる公園整備を進めて参ります。

文化財関連事業では、デジタルヘリテージセンター整備事業において、英語Webページ作成及び資産価値を普及する動画作成を進めて参ります。伝保存地区保存事業では3棟の屋根葺きを予定している他、文化財の保全に努めて参ります。

4. さいご

以上、限りある財源の中で、第2次総合戦略に掲げた目標の達成に向け、いつまでも住み続けたいと思える村・住んでいて良かったと思える村創りに力強く邁進して参りたいと思っておりますので、より一層のご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。結びとさせていただきます。

当初予算 530万円

において前年度より229.9%増額し5億6,328万円となりました。

次に事業費の大きなものですが、総務費では、ふるさと納税推進事業経費（2億4,604万円）として寄付額の増加に伴い返礼品などの費用を増額計上、新庁舎建設計画策定事業では、庁舎建設に向けた計画や用地取得を行います。

農林水産業費では白山林道管理一般経費（1億1,582万円）として、白山白川郷ホワイトロードの管理経費、法面改良や施設の機器更新の費用を計上しています。

商工費では、せせらぎ公園管理事業（1億9,025万円）として、観光客受け入れのための駐車場経費、企業誘致政策関連経費（1億5,943万円）として、酒蔵誘致に向けた鳩谷体育館解体経費を計上しています。

土木費では除雪関係事業（1億3,581万円）、新規事業では、緊急浚渫推進事業（6,600万円）として、河川維持計画に基づいて緊急的に必要な浚渫工事費を計上しています。

その他、民生・衛生費では、国の子育て支援などの新規政策への対応と、妊産婦健診、不妊治療、乳幼児健診の充実を図ります。消防費では、常備消防、非常備消防の経費を確保、教育費では、学校給食センターや体育館施設の改修経費、荻町伝建地区保存事業による屋根葺きなどの費用を計上しています。

◆特別会計

国民健康保険特別会計事業勘定は、前年並み、直診勘定の部では、医療機械器具の更新に伴う増額予算となっています。

温泉開発会計特別会計は、温泉開発一般経費を増額し、湯量の安定化に向けて修繕計画を行います。

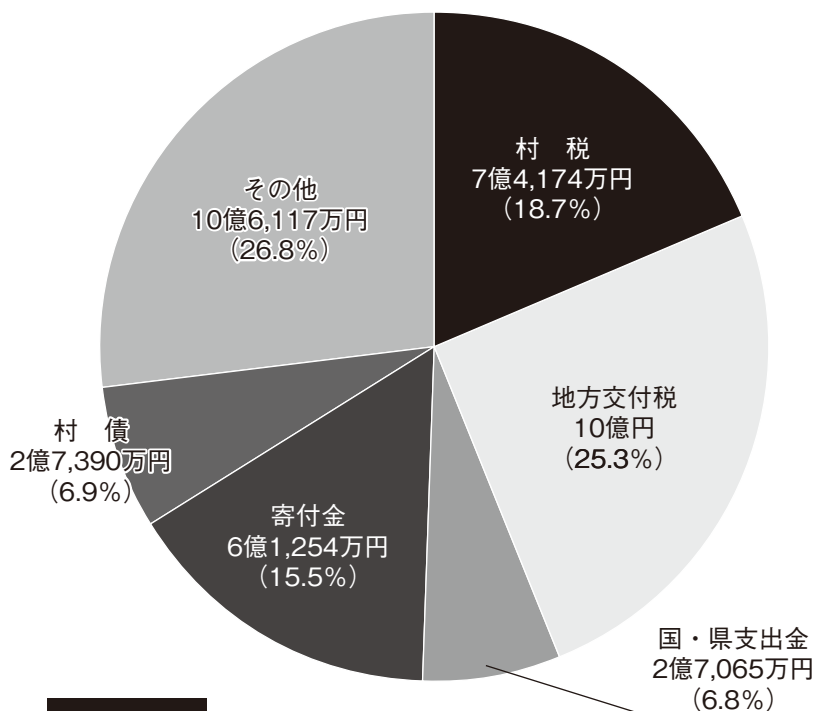
その他特別会計については例年並みとし、適切な事業執行に努めます。簡易水道会計、公共下水道会計は、公営企業会計へ移行しました。

これらの予算の執行状況については、今後当誌面において公開していきます。

グラフ1

一般会計歳入

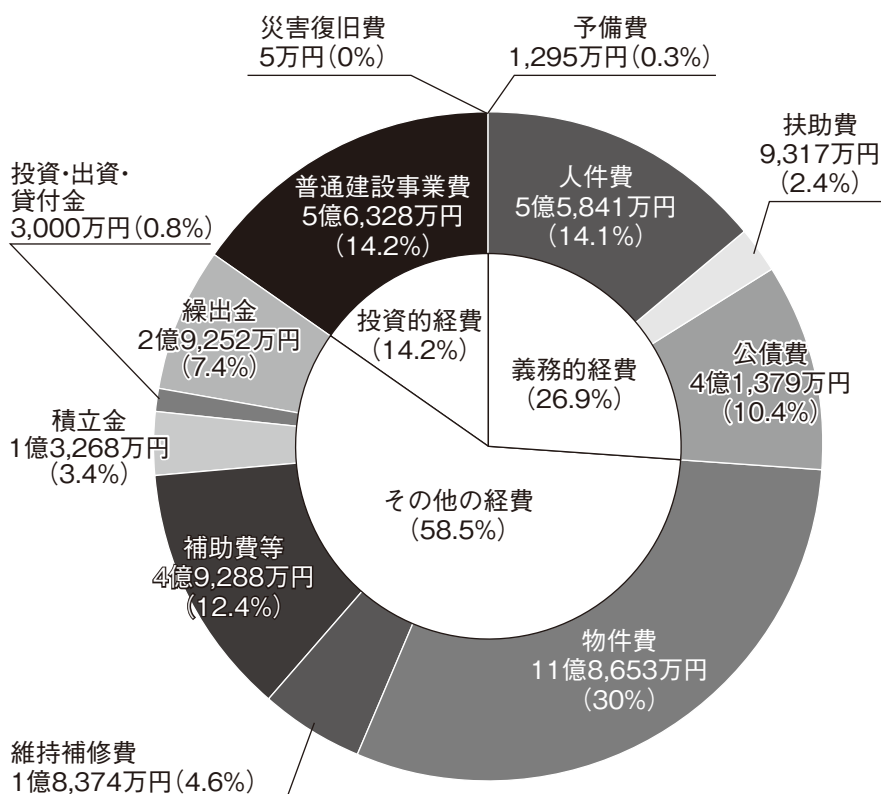
歳入総額 39億6,000万円



グラフ2

歳出性質別予算

歳出総額 39億6,000万円



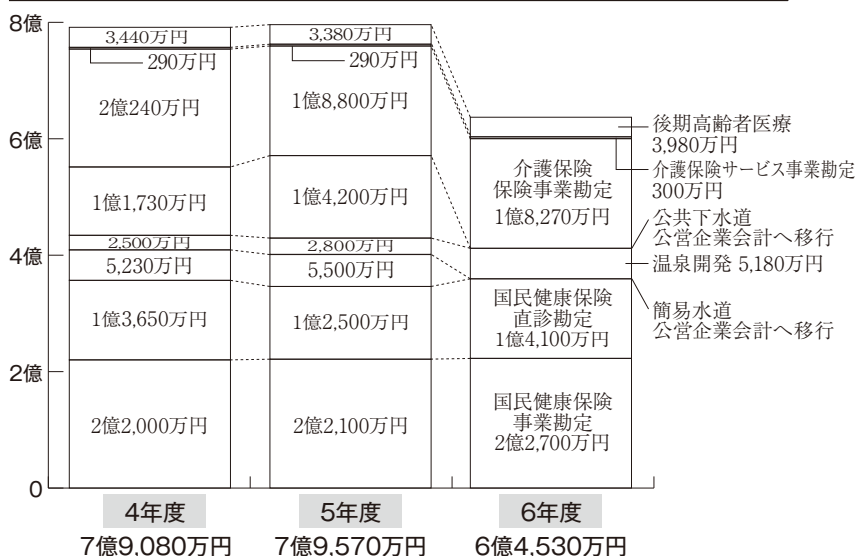
令和6年度 白川村 全会計総額 46億

村の一般会計と特別会計・公営企業会計の新年度予算が決定しました。村に入るお金やその使い道について概要をお知らせします。

■ 一般会計歳出目的別予算額

款	当初予算	構成比	対前年度増減額
議会費	3,556万円	0.9%	63万円
総務費	6億9,629万円	17.6%	1億2,254万円
民生費	3億2,954万円	8.3%	3,964万円
衛生費	2億3,219万円	5.9%	3,144万円
農林水産業費	2億7,931万円	7.1%	1,112万円
商工費	6億7,612万円	17.1%	△1億8,545万円
土木費	6億3,139万円	15.9%	2億3,568万円
消防費	2億1,917万円	5.5%	1,313万円
教育費	4億3,304万円	10.9%	1億3,693万円
災害復旧費	5万円	0.0%	0万円
公債費	4億1,379万円	10.4%	1,839万円
備費	1,355万円	0.3%	295万円
計	39億6,000万円	100.0%	4億2,700万円

■ 特別会計予算額の推移



■ 予算規模

一般会計の予算額は、39億6,000万円を計上し、前年度より4億2,700万円増額となりました。歳入・歳出の内容については、グラフ1・2を参照ください。

特別会計の予算額は簡易水道会計、公共下水道会計を除いて6億4,530万円となりました。詳細は「特別会計予算額の推移」とおおりですが、簡易水道会計及び下水道会計については令和6年度より公営企業会計へ移行しました。このためこの2会計は単式簿記から複式簿記に変更となりました。

◆ 一般会計・歳入 ■ グラフ1

村税は全体の18.7%を占めますが、最も大きなものは発電施設等に係る大規模償却資産税です。地方交付税は近年の状況を踏まえて10億円を計上、寄附金については近年のふるさと納税の状況に伴い6億1,254万円を計上、村債については、2億7,390万円を計上。いずれも増額予算となっています。

◆ 一般会計・歳出 ■ グラフ2

令和6年度は、白川村第2次総合戦略の5年目の年となります。依然として定住人口は緩やかに減少傾向が続いていますが、少子化対策や社会福祉の充実、6次産業化や地域経済の活性化を図り、移住・定住の促進に取り組むことにより『人口は維持以上を目指し、持続可能な村をつくる』ことが目標です。

将来の白川村の姿を見据えて事業展開を図りつつ、合わせて国の政策に柔軟に対応しながら、健全な財政運営に努めます。

グラフ内の義務的経費は、経常的に支出しなければならない経費となりますが、前年より8.0%増加しました。内訳として、人件費(5億5,841万円)扶助費(9,317万円)公債費(4億1,379万円)いずれも増額予算となっています。

投資的経費では、普通建設事業費に

■ 公営企業会計

	収益・資本的収入	収益・資本的支出
簡易水道事業	8,193万円	9,901万円
下水道事業	2,0269万円	25,257万円

■ 令和6年度 一般会計のおもな事業

■ 議会費		■ 商工費	
議会一般経費	555万円	せせらぎ公園管理事業	19,025万円
■ 総務費		企業誘致政策関連経費	15,943万円
ふるさと納税推進事業	24,604万円	温泉開発特別会計繰出金	3,470万円
新庁舎建設計画策定事業	6,180万円	商工業振興一般経費	3,137万円
電算管理一般経費	4,909万円	南部地域観光デザイン事業	2,975万円
企画一般経費	2,561万円	駐車場等交通整理事業	2,620万円
住民情報電算化事業	2,101万円	■ 土木費	
■ 民生費		除雪関係事業	13,581万円
後期高齢者医療費	2,896万円	公共下水道特別会計繰出金	11,240万円
介護保険事業勘定特別会計繰出金	2,260万円	緊急浚渫推進事業	6,600万円
障がい福祉サービス費給付事業	2,203万円	荻町下ゴン線道路改良事業	6,200万円
外出支援事業	2,134万円	社会資本整備総合交付金事業	4,520万円
児童公園管理一般経費	2,026万円	東海北陸自動車道4車線化事業	4,264万円
■ 衛生費		■ 消防費	
国保直診勘定特別会計繰出金	6,200万円	常備消防一般経費	10,713万円
リサイクル運営経費	3,950万円	消防施設管理経費	3,020万円
簡易水道特別会計繰出金	3,600万円	非常備消防一般経費	2,466万円
塵芥処理一般経費	2,342万円	■ 教育費	
住民健診事業	1,755万円	学校給食センター管理経費	5,245万円
■ 農林水産業費		荻町伝建地区保存事業費	4,750万円
白山林道管理一般経費	11,582万円	保存財団事業補助金	3,000万円
畜産一般経費	1,973万円	体育館施設一般経費	2,991万円
戸ヶ野用水清流発電施設管理経費	1,918万円	白川郷学園管理一般経費	2,747万円
鳥獣被害対策事業	987万円		
地籍調査事業	857万円		